

Press Release

2019/3/7

書籍『地域金融復権のカギ「地方創生ファンド」 ～共感・感動のsmallビジネスを育て、日本を変える～』 出版のお知らせ

全国の地域金融機関と共に展開している『地方創生ファンド』
のあり方と運用の仕組みを分かりやすく解説

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社（本社：京都市中京区、代表取締役社長：松本直人、以下「当社」）は、2019年3月14日に、書籍『地域金融復権のカギ「地方創生ファンド」～共感・感動のsmallビジネスを育て、日本を変える～』を東洋経済新報社より出版いたします。

●書籍の概要

書名	地域金融復権のカギ「地方創生ファンド」 共感・感動のsmallビジネスを育て、日本を変える
著者名	松本直人（当社 代表取締役社長）
体裁	四六判ソフトカバー 208頁
価格	定価 1,500円（税別）
販売形態	書店、オンライン書店にて発売



内容紹介：

2014年に、次のような衝撃的な予測が発表されました。

- ・ 2040年には全国1800市区町村の半分の存続が難しくなる（日本創生会議）
- ・ 2050年には全国の6割以上の地域で人口が2010年時点の半分以下になる（国土交通省）

あれから5年。日本という一国の存続に関わる大問題であるにも関わらず、課題解決に向けた具体的なアクションは、ほとんど見えてきません。

だからこそ、地方経済を盛り上げるための方法を早く取り組まなければなりません。ではどうすればよいのか——その方法の一つを提案したのが本書です。

本書は、人口減少時代を迎える今、地方が活力を取り戻すための方法を解き明かしたものです。地方経済活性化のために、FVCが地域金融機関（地方銀行・信用金庫・信用組合）と共に、福島、秋田、大阪、京都など全国で展開している『地方創生ファンド』20本の実例をもとに、『地方創生ファンド』あり方と運用の仕組みを分かりやすく解説しました。

なお、本書で紹介しております事例は下記の通りです。

- ・ あきた創業ファンド（秋田信用金庫）
- ・ 秋田元気創生ファンド（秋田県信用組合）
- ・ もりおか起業ファンド（盛岡信用金庫）
- ・ 磐城国地域振興ファンド（いわき信用組合）
- ・ かんしん未来ファンド（第一勧業信用組合）
- ・ だいしん創業支援ファンド（大阪信用金庫）
- ・ 京都市スタートアップ支援ファンド（京都中央信用金庫・京都信用金庫）
- ・ 京信イノベーションCファンド（京都信用金庫）
- ・ 信用組合共同農業未来ファンド（第一勧業信用組合、北央信用組合、秋田県信用組合、いわき信用組合、あかぎ信用組合、君津信用組合、糸魚川信用組合、都留信用組合、笠岡信用組合）

※上記以外にも、福島信用金庫・関西アーバン銀行・神戸信用金庫・トマト銀行・愛媛銀行との取り組みもございます。

目 次：

- 序 章 地域金融機関と協力して
- 第1章 地方経済を活性化させるために
- 第2章 地方創生ファンド運営の流れと仕組み
- 第3章 地方には面白い企業がたくさん
- 第4章 地方創生ファンドの実例紹介
- 第5章 共感社会における金融機関のあり方とは
 - * 「捨てられる銀行」「金融排除」著者 橋本卓典氏 対談
- 終 章 未来の金融機関に向けて

● フューチャーベンチャーキャピタル株式会社（FVC）について

京都に本社を置く独立系ベンチャーキャピタル。地域のベンチャー企業を支援するための「地方創生ファンド」（2019年2月末現在運用実績20本）と事業会社のオープンイノベーションを促進するための「CVCファンド」（2019年2月末現在運用中ファンド5社7本）に取り組んでいます。また、資金を投入するだけでなく、長期的な事業継続に向け、事業育成、人材育成、事業コンサルティングなどの支援を行っています。

商 号 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
代表取締役社長 松本 直人
本 社 所 在 地 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659 番地 烏丸中央ビル
証 券 コ ー ド 8462 JASDAQスタンダード
U R L <https://www.fvc.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 電話：070-6409-8175

メール：y-takahama@fvc.co.jp 担当：高濱